

京都知福協だより

京都知的障害者福祉施設協議会

京都市上京区猪熊通丸太町下ル中之町519 京都社会福祉会館202 http://kyotifuku.jp 発行人 樋口幸雄









るりけい寮 日中活動の様子





用負担軽減措置、4「重度訪問介護」の訪問

者や期間、③障害者の介護保険サービスの利 立生活援助」および ② 「就労定着支援」の対象

先の拡大、(5) 「居宅訪問型児童発達支援」の

総合支援法の概要案が発表されました。⑴「自 が開催され、平成30年4月施行の改正障害者 ないかと思います。 去る6月26日、社会保障審議会障害者部会

(7)児童発達支援及び放課後等デイサービス創設、(6)「保育所等訪問支援」の対象拡大、 居場所づくりに留まらず、 のある方や高齢者、 業です。農業は作業を分担することで障がい まりました。 1つ目は京都式農福連携構築事 みは概ね出揃ったのではないかと思います。 によって、障害のある人の地域で暮らす仕組 の総量規制、以上の7項目です。今回の改正 また、今年度より2つの京都式新事業が始 障がいのある方の就労促進や 地域のすべての人が関わ 多世代による共生

社会づくりの基盤とすることが期待できます

身体には十分お気遣いいただきますようお願

い申し上げます。

でもあります。

おわりに、猛暑日が続きお疲れがでる時期

皆様方におかれましては、

お



日からの九州北部に

補助率3分の2)、②就農促進、技術指導(6

ド整備500万・ソフト整備300万円共に

①京都式農福連携補助金

長

樋

雄

成ります。全国では、時給400円を実現し 次産業支援含む)、③キャリア認証制度から はじめに、7月5

事業内容は、

心よりお見舞い申し上げます。 上げますとともに、被害に遭われた皆様方に 亡くなられた多くの方々にお悔やみ申し おける豪雨災害によ

り、

切磋琢磨する職場風土を醸成し、福祉の魅力 専門性を重視し、よりよい実践を通して日々 の時代にあっても組織は人の力です。今こそ らず、「人は石垣」「人は城」「人は堀」いつ な状況となっておりますが、 マインドを広く社会の人たちに伝える時では 福祉業界は人材確保において一層深刻 福祉の分野に限

業を活用して、

利用者の工賃向上に繋げたい

上回っているという報告もあり、

今回の府事

B型事業所の農業部門は、B型の平均工賃を 事業所も増えています。京都府内においても ている就労B型事業所や農業に特化するA型

能を使いながら概ねお一人に対して3ヵ月ク 動障がいの状態にある人に対して入所施設機 要望が実ったものです。 れることとなりました。本会の粘り強い政策 知事との直接ヒアリングを経て、平成29年度 毎年京都府に重点政策要望として強度行動障 です。重度の知的障がいや発達障がいに起因 より京都式強度行動障害モデル事業が実施さ 害施策を挙げてきましたが、昨年暮れの山田 がい福祉の大きな課題です。京都知福協では 障がいに苦しむ人たちの問題は依然として障 2つ目は、京都式強度行動障害モデル事業 ルで集中支援(モニタリング・アセスメン その二次的三次的障がいとして強い行動 事業内容は、 強い行

ものです。 いと考えています。 って光明となるよう実績をつみ上げていきた ても今回の事業が当事者・家族・事業者にと ト・移行支援)を行うものです。 当協会とし

生社会に 向 けての変革

共

京都知的障害者福祉施設協議会 誰もがその人らしく暮らせる街づくり 会

京都知福協・平成29年度福祉フォーラムに参加して

題と併せて捉えていき、今、施設事業者・題と併せて捉えていき、今、施設事業者・関合主催の「相模原・津久井やまゆり園会主催の「相模原・津久井やまゆり園員会主催の「相模原・津久井やまゆり園員会主催の「相模原・津久井やまゆり園員会主催の「相模原・津久井やまゆり園員会主催の「相模原・津久井やまゆり園員会主催の「相模原・津久井やまゆり園員会主催の「相模原・津久井やまゆり園

で企画されました。 で企画されました。

ーマに沿って発言を戴きました。大阪れぞれに事前に依頼しておいた発題テ雄会長が進行役となり、発言者には、そーシンポジウムでは京都知福協の樋口幸

> 経緯と対応について発題されました。 と対応について発題されました。 とは、やまゆり園事件発生直後に全国手を がい福祉の原点とも言える観点で発題さ は、やまゆり園事件発生直後に全国手をつな がい福祉の原点とも言える観点で発題さ がい福祉の原点とも言える観点で発題さ がい福祉の原点とも言える観点で発題さ がい福祉の原点とも言える観点で発題されました。日本知福協人権・倫理委員長 の中西昌哉氏(京都知福協)をで発題さ

終えました。 不可欠であると提言され、フォーラムを と『地域との絶え間ない交流』の3つが 虐待の無いより良い施設を目指すには とも思いました。結びに樋口会長より、 葉が『多様性』に共通するものであった える、依存できる人(相手)が沢山いる人 れる人が近くにいること、弱さを認め合 ときにSOSを発し、手をさしのべてく 氏の『能動的自立論』として、「困った ような凄惨な事件は起こらずに済んだの り障がい者の豊かな地域生活を支援し、 な環境と適切な支援を提供することによ 生きにくさ(生きづらさ)を理解し、適切 を有する人の幸せを創出することとは、 『支援環境の改善』、『支援スキルの熟達』 こそ自立できるのではないか」という言 かもしれないと感じました。また、野沢 たが、その理念が世間に浸透すればこの 社会に多様性をもたらす」と話されまし シンポジウムの中で松上氏が「障がい

りがとうございました。されました方々にお礼申し上げます。あ講師の皆様並びに当日の運営にご尽力

参加者の声~アンケートより~

- いと考えます。

 フォーラム)を何度も持っていきた
 関に議論を深める作業が必要です。

 更に議論を深める作業が必要です。
 過程で出てくる「事実」を踏まえ、
 過程で出てくる「事実」を踏まえ、
 過程で出てくる「事実」を踏まえ、
- りたいです。
 りたいです。
 けいです。
 いつも不安に思います。
 いつも不安に思います。
 いつも不安に思います。
 いつも不安に思います。
- ・入所施設は不要ではなく必要なこと・入所施設は不要ではなく必要なこと・入所施設は不要ではなく必要なこと・入所施設は不要ではなく必要なこと・
- があるように実感しました。今こそ職員一人一人が考え直す必要今こそ職員一人一人が考え直す必要とでも起こりうる可能性がある…。
- 大変な仕事ですが、今後も頑張っててると良いなあとつくづく思います。す場が本当の意味で話合える場が持現場の話、実際、みんなが困ってい現場の話、実際、みんなが困ってい
- とハッとさせられました。うとする気持ち・姿勢が大事なんだ思いや気持ちを受け止めよう、知ろ思いを見いて、改めて利用者さんの

なりました。

続けていきたいという気持ちが強く



平成29年度全国知的障害関係施設長等会議に参加し

がしのき・ワークスおーい社会福祉法人松花苑

部を紹介します。ーラムにおいて開催されました。その一の対応」というテーマで、東京国際フォの対応」というテーマで、東京国際フォ設長等会議が「新たな障がい福祉施策へ7月4日・5日、全国知的障害関係施

語が

経った今もまだまだ整理できないでいまいたの事件ですが、知的に障害のある方との利用者とご遺族の皆様にあらためて心の利用者とご遺族の皆様にあらためて心の利用者とご遺族の皆様にあらためて心との事件は、一般の方にとっても衝撃との事件は、一般の方にとっても衝撃がかわる仕事をしている私たちにとの事件は、昨年の施で存じのようにこの事件は、昨年の施で存じのようにこの事件は、昨年の施

の多くの人が、知的障害そのものの障害から話をされました。一つ目は「世の中難しいのですが、この事件を四つの観点面原氏の講演を正確にまとめることは

について大きな誤解がある」ということ。 について大きな誤解がある」ということ。 三つ目は 「その人らしく生きること。 知的障 国気への警告」について。そして、四つ 国は「その人らしく生きること。 三つ目は 「その人らしく生きること。 三つ目は 「その人らしく生きること。 三つ目は 「その人らしく生きること。 三つ目は 「その人らしく生きること。 三つ目は 「『知的障害そのものが価値の ということ。 こいて はならない」ということ。 について大きな誤解がある」ということ。

やまわりの人たちが悪いという結論には はできなかったのかを、しんどいことで の事件が起こったのか、未然に防ぐこと き合いながら、そして西原氏のおっしゃ ろです。どこまで行っても全容はわから や退職後について、未然に防ぐことがで けに、犯人が施設の中で働いていた期間 としては、この犯人が元職員であっただ り上げています。施設の運営に関わる者 ょうど一年を迎えることもあり、多くの うに思いました。 で、今一度真摯に振り返る必要があるよ ありますが、あらためてそれぞれの現場 る真の共生社会の実現に向けて、なぜて 人材確保など今施設が直面する課題と向 したくはありません。職員の人材育成・ ないかもしれませんが、単純にその施設 がなかったかどうかが一番気になるとこ きた犯人が出していたサインの見落とし メディアが色々な角度からこの事件を取 この原稿を書いている今、事件からち

【行政説明・フォーラムディスカッション】

講演に続いて、行政説明とフォーラム

▶開会式

(橘 文也会長)

取組みです。
「我が事・丸ごと」地域共生社会実現のの動向と共生型サービスの開始そして後の注目点は、来年4月実施の報酬改定の重営について大きく変わりました。今度は社会福祉制度改革が進められ、法人ディスカッションが行われました。昨年

【二日目分科会】

二日目分科会は四つの分科会で開催されていました。第一分科会は「これからの児恵発達支援センター・障害児入所施設のを考える」、第二分科会は「意思決定支事・丸ごと』地域共生社会実現の取組みを考える」、第二分科会は「意思決定支事・丸ごと』地域共生社会実現の取組みを考える」、第二分科会は「意思決定支事・丸ごと』地域共生社会実現の取組みを考える」、第二分科会は「意思決定する人の就労のあり方を考える」という。

支援部会に参加しました。それぞれの分会の一員でもあることから、今回は就労活動・就労支援部会職員会議の実行委員私は、今年兵庫で開催される全国生産

見えてきます。注目しなければならないのは何かが少し科会のテーマを並べると、今何が課題で、

のがあるはずですから。 が少なかったように思います。今はネッ 数と近年の参加者数を比べると、おそら 報を求めて集まって来られるのだなあと 思います。その時の印象は、全国にはな でも、行ってみてください。得られるも なくても良い時代なのかもしれません。 です。ですから、わざわざ東京まで行か す。残念ながら、今年は京都からの参加 く倍くらいの規模になっていると思いま 時の会場は、日比谷公会堂だったように 20数年前、はじめてこの会議に出席した あり、この数年は毎年出席しています。 会長を引き受けさせていただいたことも ト社会。欲しい資料はすぐ手に入る時代 いう「驚き」でした。その頃の参加者の んとたくさんの施設長がいて、最新の情 この施設長等会議には、京都知福協の



●フォーラムディスカッション



(立教大学教授・平野方紹氏)▶フォーラムディスカッション





きな拍手が鳴り止みませんでした。 障害のある方も職員の方もクラシックの名曲 ていただきました。車椅子で参加の方も重 楽器が奏でる生の音楽に触れ、感動を体感し 13曲、フルオーケストラが演奏する8分間を 裕一氏の指揮で始まり「ウイリアム・テル序 キー行進曲」では、会場が手拍子で一つにな の演奏に深い感動を覚え心行くまで楽しまれ かり上がり5月晴れの好天気に恵まれました。 用者の皆さんの気持ちが通じたのか雨もすっ 後の開場時間にはこの日を待ち望んでいた利 り演奏が終了した会場からは、惜しみない大 に様子でした。最後のアンコール曲「ラデッ コンサートは、皆さんにおなじみの田久保 当日の朝はあいにくの雨模様でしたが、午 から「威風堂々」まで途中休憩なしの全

すが、今回のコンサートではそうした作法に とらわれず、思い思いの感じ方や表現を全身 お知らせしたことで、利用者の皆さんが安心 に表していただき演奏中も離席が自由にで に座って鑑賞するというマナーが求められま うて心地よく演奏を楽しめ「また来年」とに 再入場もできるという開催趣旨を事前に 般的にクラシックコンサートは静かに席 こやかな表情で会場を後にされる姿がた へん印象に残りました。

京都知福協主催の「第

ュトラウスの『鍛冶屋のポ 聴き入っていました。シ い生演奏に利用者さんは おなじみの名曲の美し

指揮者の後ろで鉄を叩くという演出がな ン姿の鍛冶屋が舞台袖から登場 ルカ』という曲では、エプロ

映画『スターウォー 楽知ってる!」と大 されると、「この音 人』のテーマが演奏

さんは大笑い。また、

され、カンカンと鉄鎚が振り

下ろされるたびに利用者

を振り、それに合わせて皆で手拍子をしまし 『ラデッキー行進曲』で る方も。アンコールの た。全曲目が終わると利用者さんはすっきり は指揮者が客席に向かって棒 喜びで職員に知らせ した表情で、とても癒された様子でした。

あれから5年も経ったのかと改めて思いま! 者の方から「5年振りですね。」と挨拶があり 回は京都会館で鑑賞しました。 トを鑑賞するのも3回目となりました。前 勤めて10年が過ぎ、京都交響楽団のコンサ

思いました。本当に素敵な時間をありがとう ございました。 ができ、楽しんで聴いている姿を見て嬉しく とても素敵な時間を過ごさせて頂きました。 会場に入ることが難しいかもしれないと心配 力と、演奏者の凛とした姿に、日常を忘れ していたSさんも、皆と一緒に鑑賞すること 利用者支援で同行させて頂いたのですが 久しぶりに聞くオーケストラの生演奏の迫

じめ、さまざまなご支援ご協力をい 開催にあたり、実行委員の方々をは 最後になりましたが、コンサートの

大変お世話になり誠にありがとう ただきました関係者の皆様には、

ございました。

(みずなぎ丸田学園

西川

由美子



新規加入施設紹介

社会福祉法人 若葉会 わかば

●管理者:井上 貴詞 ●所在地:京都市左京区静市野中町311 ●施設種別:障害者支援施設(生活介護・施設入所支援) その昔、鞍馬山に預けられた牛若丸が通ったであろう鞍馬街道、その街道を眼下に望む高台に『わかば』は生まれました。春の芽吹きから新緑、紅葉、雪景色と四季の風情が楽しめ、中でも紅葉は名だたる名所に引けを取らない美しさです。『わかば』はこのような自然に恵まれた場所にあるのです。この自然を活かした活動を構築すべく、農園・菜園を行う環境作りに励んでおります。皆様からのお力添えをいただければ幸いです。





社会福祉法人 世光福祉会 障がい者地域共生拠点イマジン

●管理者:中西 昌哉 ●所在地:京都市伏見区桃山町泰長老179-1 ●施設種別:生活介護

ベテスダの家から新しく生まれたのが「障がい者地域共生拠点イマジン」です。特徴としては、カフェとお風呂がある施設となります。ここに地域の方に来ていただくことを想定して建築しました。浴室の地域開放活動も始めました。利用者さんはタオルを丁寧にたたんで、お越しになるのをお待ちしています。障がいのある利用者さんと地域の子どもたちや高齢の方とが、交わる地域の拠点になっていくことを願っています。

社会福祉法人 修光学園 ワークセンター Halle!

●管理者:藤田 公智 ●所在地:京都市左京区田中北春菜町14-1 ●施設種別:就労継続支援B型事業 ワークセンター Halle! は、障害のあるなしにかかわらず市民として地域のなかで就労する場として、また、住み慣れた地域で家族から独立した暮らしが実現できるように高工賃を目指して今年4月に開設いたしました。

現在は、紙器加工の機械2台を駆使して、箱作りをメインに行っておりますが、2017年度の後期には建物を改装し、 洋菓子の工房と小さなお店「茶山 Sweets Halle」を併設して展開していきます。障害のある方の就労の場を地域の方 にも知っていただけるように、開かれた事業所を目指して頑張っていきます!





京都ライフサポート協会 あん'ず若杉

●管理者:樋口 幸雄 ●所在地:京都市南区東九条下殿田町24 ●施設種別:共同生活援助・短期入所 自分の時間や空間が確保された落ち着ける居室、五感に働きかける心地良い共有スペースがあること。生活環境を 整えることが、支援の第一歩だと考えています。安心感のある環境が本来の能力を引き出し、安定した生活へと導き ます。一人ひとりの価値観や思い、その違いを認め様々な生活スタイルを受け止める支援。これまで培ってきた価値 観や思いをそのままに、ありのままの姿で普通の暮らしを送ること。それが「あん'ず若杉」の目指す生活です。

社会福祉法人 山城福祉会 居宅介護わくわく

●管理者:菊池 ゆかり ●所在地:宇治市槇島町石橋13番地6 ●施設種別:居宅介護・行動援護

「通所施設に通う利用者の外出を支援したい」という思いから、平成22年10月に槇島福祉の園内に事務所を置いて「居宅介護わくわく」がスタートしました。当初は、法人内3施設利用者の移動支援が中心でしたが、現在は宇治市全域から、行動援護・居宅サービスの利用割合が増えています。職員も研修を重ねながら、一人一人に合わせた支援の在り方を問い続けています。相談支援事業の定着によって、ニーズが表面化して利用者も増える中で、居宅サービスが担う役割と事業所間の連携を大切にしています。





社会福祉法人不動園天ケ瀬学園相談支援事業所

●管理者:守本 明 ●所在地:宇治市白川東山15番地 ●施設種別:特定相談支援事業

天ケ瀬きぼうの家(生活介護、施設入所支援)の新法移行と同時に開所いたしました。現在は自法人事業所をご利用されている方々のサービス等利用計画の作成・モニタリングを中心に活動しています。相談支援専門員は入所型施設の生活支援員と兼務であるため、仕事に追われている状況ではありますが、各人とも自己研鑽に努めています。知福協に加入して更に勉強させていただきます。

特定非営利活動法人タイム・ワークサポートセンター えすべらんと・ α

- ●管理者:西澤 正毅 ●所在地:京都市南区吉祥院流作町42-2-2
- ●施設種別:就労移行支援事業・就労継続支援B型事業

えすぺらんと・αは桂離宮前の桂川東岸から約400メートル下流に沿った場所にあります。

法人理念の『働いて輝く!』をモットーに、就職して、街に暮らし、幸せな人生を歩んで行けるよう支援を行っています。作業は山科区の株式会社フロニカ様よりバスタオルと枕カバーの洗濯を頂いております。お陰様で盆正月も工場を稼働させる位の忙しさに恵まれ、利用者、職員共に就職と高収入を目指し、汗を流しております。お近くにお越しの際は利用者の輝く姿と汗を見に是非お立ち寄り下さい。





特定非営利活動法人 地域の家 地域の家

- ●管理者:河坂 昌利 ●所在地:京都市北区衣笠東御所の内町53-1
- ●施設種別:共同生活援助・京都市心身障害児者レスパイトサービス事業

地域の家は、金閣寺がすぐ近くの閑静な住宅街にある定員が10名の小さな障害者用グループホームです。入居者は男性8名、女性2名で、今では珍しい男女混合です。入居者全員に知的障害があり、それに加え、高次脳機能障害、統合失調症、てんかん精神病、発達障害、がん、誤嚥性肺炎、喘息、てんかんなどの障害や病気を抱えておられます。地域の家の夕食は、子育てが終わった近所のおばちゃんが作る京都の家庭料理です。だしは人口調味料を使わず、カ

ツオや昆布でとるのがこだわりです。組織運営の基本は、エンパワーメントの方法論を使った職員のオーナーシップ保持、モチベーションアップと働くことの楽しさの追求です。協会の皆様、これからもよろしくお願いいたします。

平成29年度 会議・研修・行事案内

4⊨

福祉フォーラム

テーマ:相模原・津久井やまゆり園事件 「施設事業者・従事者に問われていること」 4月15日 開催場所:京都テルサ

近畿地区障害者支援部会代表者会議 4月24日

監査 4月24日 総会 4月25日

5月

近畿地区総会および第1回役員会 5月10日 開催地:兵庫

第22回クラシックコンサートの集い 〜京都市交響楽団演奏会〜 5月25日

6月

第1回相談支援部会

6月6日

第1回広報部会

6月14日

全国定時評議員会

6月16日 開催地:東京

第1回役員会

6月29日

7月

全国知的障害関係施設長等会議 7月4~5日 開催地:東京

近畿地区会長会

7月18日 開催場所:神戸

第2回相談支援部会 7月18日

第2回広報部会 7月28日

第一回政策委員会 7月31日

8月

全国グループホーム等研修会 (北陸大会 in 福井)

8月21~22日

近畿地区障害者支援部会代表者会議 未定

9月

全国知的障害福祉関係職員研究大会

9月27~29日 開催地:愛知

第3回広報部会 9月27日

幼児のつどい 9月29日

地域支援部会 9月29日

第2回役員会 未定

近畿地区第2回役員会 未定

近畿地区日中活動支援部会 未定

近畿地区政策委員会 未定

10月

相談支援・就業支援セミナー

10月16~17日 開催地:神奈川

全国障害者スポーツ大会

「笑顔つなぐえひめ大会」

10月28~30日 開催地:愛媛

知的障害者福祉施設·身体障害者 福祉施設等職員研修

テーマ:福祉とテクノロジー 10月30日 開催場所:京都テルサ

11_月

全国会長·事務局長会議

11月1~2日 開催地:東京

風船バレー大会

11月 上旬

全国児童発達支援施設運営協議会

11月7~8日 開催地:北海道

第6回全国生産活動·就労支援部会 職員研修会

11月9~10日 開催地:兵庫

地域支援セミナー

11月20~21日 開催地:神奈川

リスクマネージャー養成研修

11月29日~ 開催地:東京

近畿地区施設長会議

11月30日~ 開催地:和歌山

近畿地区児童発達支援部会児童入 所施設分科会

未定

12月

リスクマネージャー養成研修

~12月1日 開催地:東京

近畿地区施設長会議

~12月1日 開催地:和歌山

日中活動支援部会全国大会

12月12~13日 開催地:東京

第3回役員会

未定

近畿地区会長·事務局長会

未定

近畿地区第3回役員会

未定

月月

障害者支援施設部会全国大会

1月29~30日 開催地:高知

第13回近畿地区グループホーム等 職員研修会

未定

2月

第54回近畿地区知的障害者関係職員研修会

2月15~16日 開催地:奈良

3月

部会協議会・全国支援スタッフ代表者会議

3月6~7日 開催地:東京

第4回役員会

未定

近畿地区第 4 回役員会

未定 開催地:兵庫

予告に用るの

第23回クラシックコンサートの集い ~京都市交響楽団演奏会~ は 2018年5月23日(水) に開催予定です。 どうぞお楽しみにして下さい。 2016年度 (2017年3月31日現在)

収支決算書

京都知的障害者福祉施設協議会

| 収入合計 | 15,686,431 |
|------|------------|
| 支出合計 | 11,437,749 |
| 差引残額 | 4,248,682 |

(残額は次年度へ繰越)

◆収入の部

(単位:円)

| ●収入の部 | | The second | A TATALANTA | | (単位:円) |
|-------------|---------------|------------|-------------|---------|-------------------|
| 大 区 分 | 中 区 分 | 予算額 | 決算額 | 比較増減 | 摘 要(積 算 内 訳) |
| 会 費 収 入 | | 8,530,000 | 8,893,202 | 363,202 | |
| 2. 近畿知福協会費 | 1. 日本知福協会費収入 | 3,150,000 | 3,269,000 | 119,000 | |
| | 2. 近畿知福協会費収入 | 180,000 | 190,000 | 10,000 | |
| | 3. 京都知福協会費収入 | 5,200,000 | 5,434,202 | 234,202 | |
| 2. 京都市補助金収入 | | 201,000 | 202,000 | 1,000 | |
| | 1. 京都府補助金収入 | 90,000 | 90,000 | 0 | ミニコンサート補助金 |
| | 2. 京都市補助金収入 | 1,000 | 0 | △ 1,000 | |
| | 3. 日本知福協補助金収入 | 110,000 | 112,000 | 2,000 | 地方会助成 |
| 寄付金収入 | | 1,000 | 0 | △ 1,000 | |
| | 1. 寄 付 金 収 入 | 1,000 | 0 | △ 1,000 | |
| 委託金収入 | | 1,800,000 | 1,800,000 | 0 | |
| | 1. 委 託 金 収 入 | 1,800,000 | 1,800,000 | 0 | 京都知的障害児者生活サポート協会 |
| 協賛金・助成金 | 収入 | 0 | 500,000 | 500,000 | |
| | 1. 協賛金・助成金収入 | | 500,000 | 500,000 | 京都知的障害児者生活サポート協会 |
| 雑 収 入 | | 2,100 | 130,696 | 128,596 | |
| | 1. 雑 収 入 | 1,000 | 684 | △ 316 | 預金利息他 |
| | 2. 研修参加費収入 | 1,000 | 130,000 | 129,000 | 9/17 福祉フォーラム参加費収入 |
| | 3. 事業振興基金利息収入 | 100 | 12 | △ 88 | |
| 繰 越 金 | | 4,160,533 | 4,160,533 | 0 | |
| | 1. 繰 越 金 | 4,160,533 | 4,160,533 | 0 | |
| 収 | 入 合 計 | 14,694,633 | 15,686,431 | 991,798 | |

◆支出の部

(単位:円)

| ▼ 文田 ひ即 | | | A1 44-1- | | (中位・11) |
|-------------------|--|------------|------------|-------------|-------------------------------|
| 大区分 | 中 区 分 | 予算額 | 決算額 | 比較増減 | 摘要(積算内訳) |
| 分 担 金 | | 3,630,000 | 3,754,700 | 124,700 | |
| | 1. 日本知福協会費支出 | 3,150,000 | 3,269,000 | 119,000 | 事務局経由分 |
| | 2. 近畿地区知福協会費支出 | 180,000 | 190,000 | 10,000 | @ 2,000 × 95 |
| | 3. 府市施設協議会分担金支出 | 300,000 | 295,700 | △ 4,300 | 府施設協 224,000 市施連協 71,700 |
| 事務局費 | | 6,054,000 | 4,698,303 | △ 1,355,697 | |
| | 1.職員雇用費 | 2,700,000 | 2,300,000 | △ 400,000 | |
| | 2. 役 務 費 | 300,000 | 175,890 | △ 124,110 | 郵送料、振込手数料、電話代 |
| | 3. 需 用 費 | 400,000 | 377,093 | △ 22,907 | 事務用品、印刷代、ホームページ作成費等 |
| | 4. 備 品 費 | 200,000 | 5,378 | △ 194,622 | |
| | 5. 旅 費 | 1,000,000 | 809,118 | △ 190,882 | 部会協議会、関係団体等会議出席、事務局等旅費 |
| | 6. 会 議 費 | 400,000 | 73,880 | △ 326,120 | 役員会会場費等 |
| | 7. 慶 弔 費 | 50,000 | 33,304 | △ 16,696 | |
| | 8. 雑 費 | 100,000 | 18,840 | △ 81,160 | 支援機構会費 10,000 他 |
| | 9. 賃 借 料 | 516,000 | 516,000 | 0 | 事務所賃借料 |
| | 10. 業 務 委 託 費 | 388,000 | 388,800 | 800 | 弁護士顧問料 |
| 部会活動費 | | 1,200,000 | 1,020,202 | △ 179,798 | |
| | 1. 広報部会活動費 | 700,000 | 632,259 | △ 67,741 | 「知福協だより」等 |
| | 2. 行事・文化部会活動費 | 500,000 | 387,943 | △ 112,057 | 幼児のつどい、風船バレー大会、ミニコンサート |
| 委 員 会 費 | | 750,000 | 850,604 | 100,604 | |
| | 1. 政 策 委 員 会 費 | 100,000 | 10,960 | | |
| | 2. 研 修 委 員 会 費 | 500,000 | 811,474 | 311,474 | 9/17・12/3 福祉フォーラム、1/20 共催負担金他 |
| | 3. 人権・倫理委員会費 | 100,000 | 23,490 | △ 76,510 | |
| | 4. 支援スタッフ委員会 | 50,000 | 4,680 | △ 45,320 | |
| 種別部会費 | | 290,000 | 113,940 | △ 176,060 | |
| | 1. 児童発達支援部会費 | 40,000 | 0 | | 部会研修会 |
| | 2. 障害者支援施設部会費 | 50,000 | 16,510 | △ 33,490 | 部会研修会 |
| | 3. 日中活動支援部会費 | 40,000 | 15,260 | △ 24,740 | 部会研修会 |
| | 4. 生產活動·就労支援部会費 | 40,000 | 24,420 | △ 15,580 | 部会研修会 |
| | 5. 地 域 支 援 部 会 費 | 40,000 | 8,180 | △ 31,820 | 部会研修会 |
| | 6. 相談支援部会費 | 80,000 | 49,570 | △ 30,430 | 部会研修会 |
| 積 立 金 支 出 | | 1,000,000 | 1,000,000 | 0 | |
| | 1. 事業活動積立金 | 1,000,000 | 1,000,000 | 0 | クラシックコンサート準備金積立 |
| 予 備 費 | | 1,770,633 | 0 | △ 1,770,633 | |
| 支 | 出 合 計 | 14,694,633 | 11,437,749 | △ 3,256,884 | |
| The second second | The second secon | | | | |

事業振興基金 2,094,609

京都知的障害者福祉施設協議会 2017年度組織体制

〈会 長〉

樋口 幸雄 (横手通り43番地「庵」)

〈副会長〉

矢野 隆弘(かしのき)

正人 (JUMP) 塩見

昌哉(障がい者地域共生拠点イマジン)

寺本 眞澄 (京都市ふしみ学園)

〈地域連絡会〉

京都府連絡会代表 樋口 幸雄

(横手通り43番地「庵」)

京都市連絡会代表 中西 昌哉

(障がい者地域共生拠点イマジン)

〈特別委員会〉

政策委員会

委員長 樋口 幸雄 (横手通り 43番地「庵」)

研修委員会

委員長 菊池ゆかり (居宅介護わくわく)

人権・倫理委員会

廣幡 顕一(京北やまぐにの郷) 委員長

〈事業部会〉

行事・文化部会

部会長 濱田 康實

(障害者支援施設みずなぎ学園)

川西 副部会長 恒(飛鳥井ワークセンター)

広報部会

部会長

(修光学園ディアコニアセンター)

副部会長 西田 武志 (障害者支援施設 翼)

〈児童発達支援部会〉

(障害児入所支援、障害児通所支援)

部会長 渋谷 千鶴(むくの木園)

副部会長 脇田 宣(白川学園)

〈障害者支援施設部会〉

(障害者支援施設)

隆弘 (かしのき) 部会長 矢野

副部会長 山代 浩史 (障害者支援施設 凛)

〈日中活動支援部会〉

(生活介護、療養介護、自立訓練、地域活動支援センター)

部会長 山条 益由 (乙訓楽苑) 副部会長 辻村 憲隆 (城陽作業所)

副部会長 坂東 敏和 (相楽作業所)

〈生産活動・就労支援部会〉

(就労継続支援B型、就労継続支援A型、就労移行支援)

寺本 眞澄 (京都市ふしみ学園) 部会長 副部会長 新谷 篤則 (まいづる作業所)

〈地域支援部会〉

(共同生活援助、自立訓練(宿泊型)、福祉ホーム、 居宅介護、重度訪問介護、行動援護、移動支援)

部会長 亮

(修光学園ディアコニアセンター)

中西

(障がい者地域共生拠点イマジン)

副部会長 庄林 幸子(みずほ寮)

〈相談支援部会〉

(相談支援事業、就業・生活支援センター、重度 障害者包括支援)

部会長 須川 浩一(相談支援センターいづみ) 副部会長 守本 明(天ヶ瀬学園相談支援事業所) 〈監

良一(こぐま園)

平田 捷郎 (障害者支援施設あんびしゃ)

〈支援スタッフ委員会〉

瀧井 孝浩(かしのき) 委員長

〈事務局〉

樋口 杏

平成29年度京都知福協広報部会 部 員 紹介



矢野 隆弘 かしのき



森 亮



修光学園ディアコニアセンター



西田 武志 障害者支援施設 翼



今西 重人 あけぼの学園るりけい寮



平田 慶顕 あした-



亘 杉山 あまだ翠光園



大菅 杏奈 宇治川福祉の園



西



和也 山本 ききょうの杜 京都市大原野の杜



綾木 冴子 大照学園



三好 真弘 テンダーハウス



髙雄 田田 はなのき通所



天野 真弓 ひなどり学園



村田 智沙都 HOLYLAND



アンガーマネジメントは、「怒りと上手に付き合う」ため の心理トレーニング方法です。私たちを怒らせる原因は、「自分の物を落としたのに 謝らなかった」など、他人や自分の外の問題であると思いがちですが実は、自分の中 にある「~するべき」「こうあるべき」という「べき」の考え方にあります。社会人 とはこうあるべき、親は子供にこう振る舞うべき、などの価値観を人は誰しも持って いますが、その価値観が、現実とギャップを感じ、裏切られた瞬間に「怒り」が湧き ます。「べき」は図のように3つの境界に分けられ、人が怒るのは「自分と違う」の 状態に至ったときです。まずは、自分の中にどういった「べき」(価値観) があるの かを考え、どういうときに自分が怒りを感じるのかを把握することが大切です。 そし て自分の価値観とは違うけれど、相手の行動が許容できるものかどうかを考え、これ ならまあ許せるかな」という部分をできるだけ沢山つくります。その許せる範囲を広 くすればするほど許せることは増えていきます。注意すべき点は『怒ることは間違い・ 悪いことである』と思わないことです。自分の感情を否定することとなりストレスに なるためです。

「怒らなくなるための方法」ではなく、怒るべき事はしっかり 怒り、そうでないときにはむやみに怒らないようにする「怒り の感情をコントロールする方法」であるアンガーマネジメント は、日々の支援や生活のなかで実践できることだと思いますの で、私も意識して取り組んでみようと思います。(村田)

変

自分と違う

後

な~と思 おもしろいですね! そうそう、 いと思 心ま ませんでした…。 関東弁を話す-たのは関サ 中でー (はなのき通 人と結婚 東 いや 弁 番自分に馴 (標準 するとは 生って 染ま でし

酒に潰されつつ…、考え方?の人と酒を 言葉を使こうとるんじゃろ?と分からなく言は本当に多種多様で、自分自身もどこの西の友人が多くできました。そのため、方 大笑いい話はイ うたり、 出すことがあります。 た方?の人と酒を飲み方言で語り合い、それ 笑 わり、 关いされたりなんて うい地元で使ってしま お国自慢を聞きながら酒が ソーストネーションが違いり、岡山で覚えた言葉 いま-た。 夏休みはバ 時期になると学 た。いつか、その変化を かがお過 自分の んてこともなてしまい、地口 友人のいると トとクラブ活動 生時代 れぞれ 畄 ながら語 価値 四 当で 国 いる土 (いました) いました)を、(例えば携帯 をふっと思 ようか? 観 \mathcal{O} あり 中国 ない が 国 元の 人暮らし は貴重な が 引合 いろい 8 地 だら まし 友達 関明 す

つ電な

西け

あまれ